



三井呉服店引き札

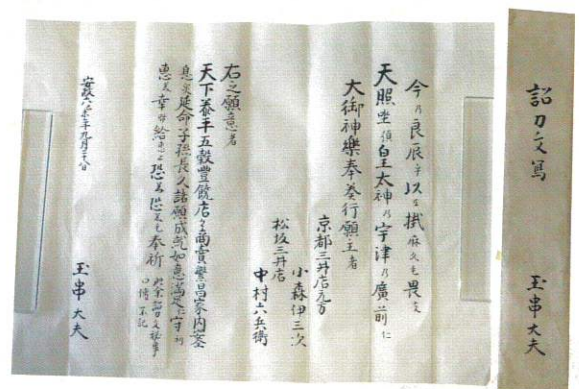


秋海棠之画 (個人蔵)

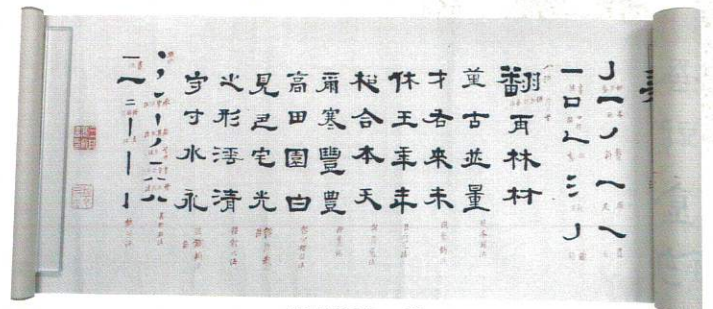
三井家の元祖、三井高利は、元和8年(1622)、松阪に生まれたとされ、本年で生誕400年を迎えます。14歳から江戸に出て兄の店で修業を積み、28歳で松阪に戻り、52歳で満を持して江戸と京都に自らの店を開きます。抜群の商才によって驚異の成功をおさめ、松阪を代表するのはもちろん、近世の日本を代表する大商人となりました。

高利は、商売の本拠を京都に定めましたが、松阪には三井家として松坂家、松坂北家(永坂町家)の2家と松坂店を置き、商業活動を続けました。

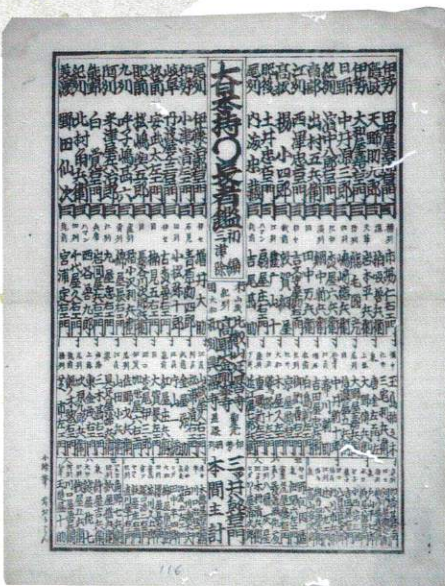
本企画展では、松坂三井2家及び松坂店に関わる資料を中心に、松阪に残る資料から三井家の商いや生活、文芸などを紹介します。



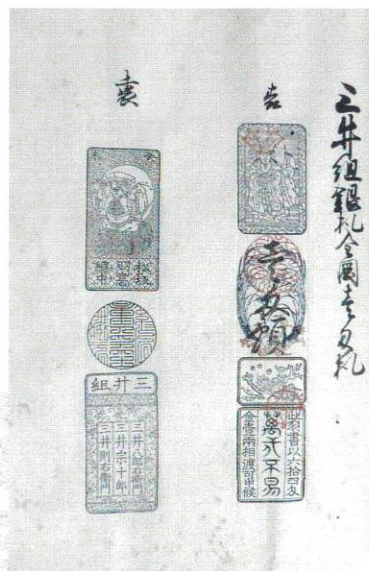
詔刀文写 (個人蔵)



隸字総要 一卷



大日本持丸長者鑑



「銀札全図」より三井組銀札



**松阪市立歴史民俗資料館**  
 〒515-0073 三重県松阪市殿町1539  
 TEL&FAX 0598-23-2381